学校番号	２０２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」（教育図書）						
副教材等	「高校硬筆練習帳」（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学校までの書写で学んだことを発展させ、芸術科書道では、用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・古典や古筆の名品を臨書・鑑賞し、多様な美を味わうことを目標とします。また、古典の美に基づいた創作活動を経験し、自らの書表現の幅を広げることをめざします。
・古典の臨書・鑑賞を通して書写能力の向上をめざします。
・作品制作を通して計画的に物事を運ぶ力を身につけていきましょう。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式､書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書へのいざない	〔書写と書道 （書体の変遷・硬筆）〕 ・国語科書写と芸術科書道の違いを理解する。 ・漢字の変遷について理解する。 ・さまざまな書体を知る。	a:漢字の書体の変遷を、歴史的背景とともに理解している。 c:書写と書道の関連と違いについて興味を持ち、今後の活動に意欲的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート		観察 ワークシート
	漢字の書（楷書・行書）	〔古典の臨書・鑑賞〕 ・古典の学習を通して、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 ・各古典の表現の違いを理解し、その特徴を鑑賞する。 〔古典の臨書・創作〕 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりなどについて、書の創造的活動を通して理解している。 a:古典に基づく基本的な用筆・運筆や、古典の線質、字形や構成を生かした表現など、書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。 b:古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成 、意図に基づいた表現など、書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し表現を工夫している。 c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 作品	観察 ワークシート 作品	観察 作品 振り返りシート
2学期	篆刻の学習	〔名印の制作〕 ・印稿・運刀に関する基本的な知識や技法を学び、身に付ける。 ・印稿・運刀を工夫し、表現する。	a:運刀に関する知識や技法を理解し、効果的な表現の技能を身に付け、表している。 b:篆刻における分間布白を理解し、印稿の表現を工夫している。 c:名前の漢字の各書体を調べて、書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 作品	観察 ワークシート 作品	観察 ワークシート 作品

2学期	漢字仮名交じりの書	〔作品の構想(草稿)〕 ・意図に基づいて言葉を考え、選定する。 ・既習の知識を生かして作品を構想する。 〔作品制作・意見交換・鑑賞〕 ・用具用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。 ・効果的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 ・作品意図に基づく構想の実現に向けて、用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。 ・他者と作品の共有・相互鑑賞を生かして、作品制作を行う。	a:用具用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 a:目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付け、表している。 a:漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付け、表している。 b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫している。 b:目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 b:自身や他者の作品について用語を使い根拠を持って分析的に考察し、表現できている。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 作品	観察 ワークシート 作品	観察 作品 振り返りシート
3学期	仮名の書	〔仮名の成立〕 ・日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解する。 〔仮名の基本〕 ・基本線・「いろは」単体の学習を通して、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学び、表現する。 ・連綿の技法について理解し、表現する。 〔作品制作〕 ・古筆に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。	a:日本の文字と書の伝統文化、仮名の成立について理解している。 a:仮名の基本的な点画や線質の表し方と、用筆・運筆の関わりについて理解している。 a:連綿と単体、線質や字形を生かした表現の技能を身に付けている。 b:仮名の用筆・運筆、字形、全体の構成について工夫している。 b:古筆を参考にして、自らの意図に基づいた表現について構想し工夫している。 c:仮名の古筆の多様な美とその技法に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 c:仮名の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 作品	観察 ワークシート 作品	観察 作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度